

令和4年度（2022年度）  
松本平ゼロカーボン・コンソーシアム 事業計画

1 総会の開催

(1) 目的

松本平ゼロカーボン・コンソーシアムの最高意思決定機関として、重要事項の審議・承認を行う。

(2) 予定

回号	開催日時	内容
第1回総会 (設立総会)	令和4年2月21日(月) 16:00~17:00	役員(案)、規約(案)、事業計画(案)、 収支計画(案)の決議
第2回総会 (臨時総会)	令和4年11月予定 (定例フォーラムと同日)	事業中間報告、運営委員追加選出 他
第3回総会 (通常総会)	令和5年4月~5月予定	事業及び収支報告、事業及び収支計画 他

※通常総会は、事業年度の翌年度4月~5月に毎年開催予定

2 定例フォーラムの開催

(1) 目的

本組織の目的を達成するため、会員の相互学習と共同実践の機会として、テーマを設け、定例フォーラムを定期的で開催する。なお、活動初期である2022年度は、松本地域の産学官が一丸となって脱炭素社会づくりに取り組むためのネットワークの量的拡大(会員参加促進)に資することも目的とする。

(2) 事業内容

ゲストの招待による基調講演を中心としつつ、パネルディスカッションや会員間のフリー交流会などを含めた開催内容とする。ゲストや活動の詳細は、会員の意向を丁寧に把握しつつ、運営委員会にて検討を行う。

2022年度のテーマは「地域主導型のエネルギー事業の確立」とし、記念シンポジウムを含めて5回実施する。

(3) 参加予定者

松本平ゼロカーボン・コンソーシアムの会員に加え、会員参加者増加を目的に、将来の会員参加を希望する一般の参加者も聴講可能とする。

(4) 予定

回号	開催日時（予定）	内容案（テーマ案）
第1回定例フォーラム （記念シンポジウム）	令和4年3～4月	テーマ「地域主導型エネルギー事業の進め方」 ゲスト：湘南電力株式会社
第2回定例フォーラム	令和4年6月	テーマ「市町村における地域新電力事業の経過と課題」
第3回定例フォーラム	令和4年9月	テーマ「地域電力事業と地方創生」
第4回定例フォーラム	令和4年11月	テーマ「地域新電力事業の全国的な動向と課題」
第5回定例フォーラム	令和5年1月	テーマ「小規模分散電源とデジタル化の活用」

3 課題別部会の開催

(1) 目的

会員が有する経営課題を集約し、その解決策を議論する実践的な機会を提供するため、課題別部会を設置し、課題を議論する。産学官の参加者による相互学習と共同の実践を推進することで、ネットワークの質的向上を図る。

(2) 課題別部会の設置

松本平ゼロカーボン・コンソーシアムへ入会希望時に提出された、会員が期待することや現在有する課題内容をふまえ（補足別紙）、松本地域の具体的課題として、ア～エの4つの課題別部会を組織する。

ア 地域主導型のエネルギー事業の確立（地域エネ事業）※

イ 再生可能エネルギーの導入（再エネ導入）

ウ 住宅・ビル等の省エネ技術開発の普及（省エネ建築物）

エ EV・FCV等の普及（モビリティの脱炭素）

※定例フォーラムでの検討と並行しての設置が有効か、今後の運営委員会で検討

(3) 事業内容

課題別部会の活動のうち、外部講師（ゲスト）を招いた課題検討の機会を以下のように設ける。ゲストや活動の詳細は、会員の有する課題や意向を丁寧に把握しつつ、運営委員会にて検討を行う。また、その他の課題別部会の設置についても、運営委員会にて今後検討を行う。

(4) 参加予定者

松本平ゼロカーボン・コンソーシアムの会員（複数の課題別部会への参加も可）

(5) 予定

課題別部会	開催日時（予定）	内容案（テーマ案）
イ 再エネ導入	令和4年8月	テーマ「再エネ電力の最大限導入に向けて」
ウ 省エネ建造物	令和4年8月	テーマ「住宅の断熱性能向上に向けて」
イ 再エネ導入	令和4年10月	テーマ「再エネ熱の最大限導入に向けて」
ウ 省エネ建造物	令和4年10月	テーマ「ビルの断熱改修の推進に向けて」
エ モビリティの脱炭素	令和4年12月	テーマ「モビリティの新技术:MaaSを中心に」

4 運営委員会の開催

(1) 目的

会員の意向を丁寧に把握したうえで、本会の目的を達成するための運営方針や活動計画の進行について協議するため、運営委員会を開催する。

(2) 運営委員（案）

第2号議案資料のとおり

(3) 内容及び予定

月に1回程度の頻度で運営委員会を開催し、定例フォーラムや課題別部会の内容を中心に、協議する。

5 その他

(1) 事業の広報・情報周知等

専用ホームページの開設

(2) 活動準備事務等

団体口座の開設及び会費受付

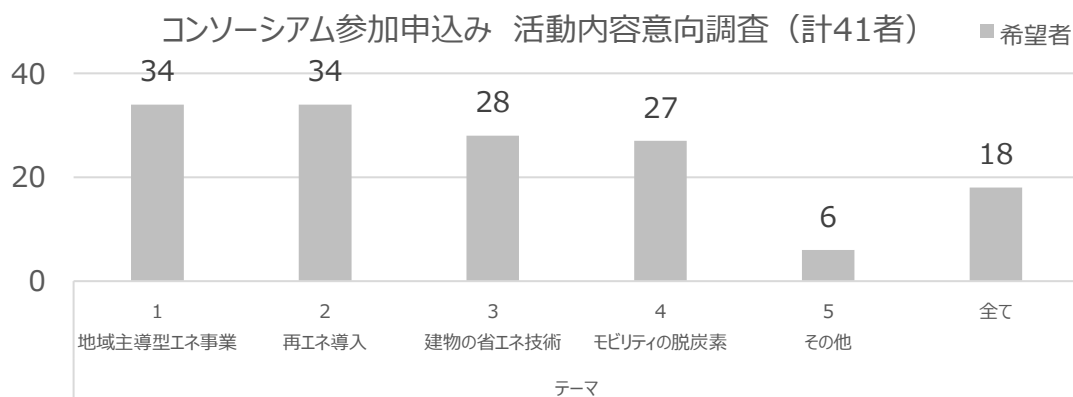
## 松本平ゼロカーボン・コンソーシアム 入会希望者の意向まとめ（補足別紙）

### 1 入会希望者について

令和4年2月17日時点で、合計41団体から申込みがありました。

### 2 入会希望者の意向について

#### (1) 関心のある活動内容（複数回答）



#### (2) 関心のある活動内容の「その他」意見

- ア 地域マイクログリッドの構築
- イ PV案件設置後（10～20年以上）の有効な利用方法
- ウ 脱炭素ソリューションの提案、提供による貢献
- エ ペーパーレス、テレワーク推進による温室効果ガス排出量削減
- オ 公共交通の利便性向上（オンデマンド交通）による自家用車の利用減少
- カ カーボンニュートラルの見える化。広域で環境エネルギー事業が自走できる仕組みの構築
- キ 乗鞍地区等での環境活動

#### (3) 今後の事業運営、脱炭素社会づくり等にあたって課題と感じていること

- ア 脱炭素事業に関する情報収集をしたい、勉強をしたい（情報、人材不足）
- イ 松本市等からの補助金、政策の情報を知りたい（もっと必要という政策提言含む）
- ウ 脱炭素に資する大規模な設備投資、施設改修に資金捻出が困難（資金不足）
- エ 脱炭素に向け、地域も経済もよくなるしくみが必要
- オ 一般人や市民に脱炭素の馴染みがなく、地域としての意識醸成、合意形成が必要
- カ 地域内の他社、他業界とのつながり、連携、協力（足並み揃え含む）
- キ 各主体のGHG排出量の認識（見える化）、及び要因分析、現状把握
- ク クリーンで安価な電力がないこと
- ケ 非化石証書の将来的な値上がり
- コ 再エネ電力へ置き換えした際の製造活動、品質影響（電力品質の懸念）
- サ プライム市場上場時に、TCFD（開示タスクフォース）に即した開示に伴う対応
- シ 自家用車の通勤率が9割超（地方の交通課題）
- ス 環境に優しい事業をしているが、認知度が低い（バイオディーゼル燃料事業など）